

基 研 研 究 会 報 告

「分子結晶における相転移と分子運動」

上記題目の研究会が1971年8月23日から26日まで、京大基礎物理学研究所で行なわれた。プログラムは下記の通りである。以下に簡単に報告するように、昨年度の第1回の同題目の研究会以後、着実に研究が進んでおり、引き続き研究会を持ちたいとのぞんでいる。

世話人	伊 藤 光 男
	片 岡 洋 右
	千 原 秀 昭
	中 村 伝
	花 村 栄 一
	本 間 重 雄
	山 本 常 信

プ ロ グ ラ ム

(第 1 日)

- 液晶における分子間力と有効ポテンシャル
小林 謙二 (都立大理)
- 液晶の旋光性と分子配向
木村 初男 (名大工)
- 不安定状態から準安定状態への転移のダイナミックス
米谷 快男児 (九大薬)
- 不安定系の周期的 evolution
西山 賢一 (九大理)

(第 2 日)

- External Vibration in Complex Crystals
永井 旺二郎 (神戸大理)
- キノール包接化合物における相転移
松尾 隆祐 (阪大理)
- 1,2-ジクロロエタン結晶の相転移
大空 瞭 (東北大理)
- リチウムハライド 1 水和物における乱れと転移
曾田 元 (阪大理)
- ハロゲン化水素固相の相転移
星埜 禎男・藤井 保彦 (東大物性研)

(第 3 日)

- 固体水素における分子方位の相転移
本間 重雄・中野 藤生 (名大工)
- FCC 格子での分子配向
宮城 宏 (阪大基礎工)

○ Rotational Correlation Function of Spherical
Rotors and Neutron Scattering

浜 重一朗 (阪大基礎工)

○ HCP 固体水素の異方性相互作用

藤 尾 元 哉 (阪大基礎工)

○ 希ガス固体中のメタンの回転運動

西 山 賢 一 (九大理)

○ 固相における CH_4 分子の Conversion Rate

岡 田 謙 吉 (京大理)

(第 4 日)

○ 固体メタンにおける相転移の理論

片山洋右・岡田謙吉・山本常信 (京大理)

○ 氷におけるプロトンダイナミックス

右衛門佐重雄 (名大理)

○ ま と め